

令和2年度事業計画書

社会福祉法人長岡老人福祉協会
高齢者総合福祉施設わらび園

特別養護老人ホームわらび園
短期入所生活介護わらび園
デイサービスセンターこしじ
デイサービスセンターわらび園
デイサービスセンターらいこうじ
ケアハウスわらび園
訪問介護ケアハウスわらび園
居宅介護支援ケアプランわらび園
地域包括支援センターこしじ・おぐに
小規模多機能型居宅介護事業所ひうの家
ケアハウスひう

基本理念

- 1 自分なり、自分の家族・友人が利用したいと思うサービスの実現を通して、利用者の満足と信頼を獲得することで地域社会の福祉の向上と事業体の発展を推進する。
- 2 職員一人ひとりが自己啓発に努めるとともに、その職責を十分に果たすことにより、働き甲斐のある職場と豊かな人生を実現する。

基本方針

- 1 職員一人ひとりが誠意と熱意をもって創造と革新を進め全員参加の経営を遂行する。
- 2 利用者のニーズに適切に対応したサービスを提供する。
- 3 危険管理と不測事態への対応を確立する。
- 4 苦情に対しては、誠意を持って迅速かつ適切に対応する。
- 5 居宅サービスに対する潜在ニーズを掘り起こす。
- 6 効率的かつ働きやすい職場環境の改善を推進する。

はじめに

令和元年度のわらび園関係の収支状況は大変厳しいもので終わろうとしています。これからの報酬の推移や、令和3年度からの働き方改革の対応を考えても今以上に厳しい経営を余儀なくされていくものと考えられます。今まで収益の高かった特養やデイサービスに頼っての経営から脱却し、各事業所が健全経営にかじを切るためその体制を見直していかなければならないと考えています。各課・各事業所の目標は安全で安心して利用できるサービスの提供のために、そして基本理念達成のために日常的に行っていくことについてまとめたものです。地域のニーズをとらえ、望まれるサービスを提供し、この地域に在って良かったと思われる施設になっていきたいと思えます。また、新型コロナウイルスへの対応については、感染症対策委員会と各事業所・部署と緊密に連携し、利用者・職員への感染防止に努めたいと考えています。

運営方針

基本理念に基づき、常に法令遵守の中で利用者に質の高いサービスを提供できるよう、経営体制を継続的に改善し利用者の満足と信頼を獲得することで、地域社会の福祉の向上に寄与する。

運営目標

- 1) 各事業所・部署はサービスの提供内容とそれに伴う職員体制を見直し、今後も健全に、そして選ばれる施設となっていけるよう全体の体制づくりに取り組むこととする。
- 2) 社会資源である施設の有効活用と経営基盤の安定のため、特別養護老人ホームわらび園では、年間平均稼働率を96%以上とする。また各事業所についてもそれぞれの目標を達成する。
- 3) 新型コロナウイルスをはじめとする感染症への対応については柔軟な対応で感染防止に努めるとともに、感染者へは主治医・保健所等と連携し感染拡大の防止に努める。

活動指針

施設介護課

◎介護事故の発生状況をより細かく検証していく

施設看護課

◎利用者の異常の早期発見に努め速やかに対応する

◎看取りの基本を理解し利用者やご家族の思いや願いに寄り添ったケアを提供する

訓練指導課

◎新規長期入所者のリハビリテーション実施計画書を、入所後 1 ヶ月以内に作成・同意を得、個別機能訓練加算を算定する

施設相談課

◎各相談員が個々の役割や業務を自覚し、ベッドの有効活用のための連携や調整に努め、空床期間を短縮することで特別養護老人ホームわらび園の年間稼働率(長期、短期合算)96%以上の実現を目指す

栄養課

◎職員個々の栄養・調理の知識や技術の向上を図り、安全で適正な食事を提供する

◎新規長期利用者に対して、入所後 1 ヶ月以内に栄養ケア計画を作成・同意を得て、栄養ケアマネジメント加算を算定する

総務課

◎業務の効率化を図り、職員がより働きやすい環境を整える

施設管理課

◎施設全体の省エネに向けた取り組みを実施する

◎安全な運行管理を実施する

わらび園通所介護課 (デイサービスセンターこしじ・デイサービスセンターわらび園)

◎満足度の高いサービス提供を実現する

デイサービスセンターらいこうじ

◎自立に向けた支援を強化する

◎利用者が過ごしやすい環境、職員が働きやすい環境を整える

ケアハウスわらび園

- ◎入居者が安心、安全で和やかな生活を送れるよう支援する
- ◎待機者の確保と入居者の適切な状態把握に努め「毎月一日付け利用者数30名」を維持する

訪問介護課

- ◎新規や変更・追加に、迅速且つ柔軟に対応し活動時間7,800時間を維持する
- ◎業務体制を見直し、記録に係る業務の効率アップを図る

ケアプランわらび園

- ◎利用者、家族との信頼関係を構築し、委託業務を含め給付件数『年1728件以上』を達成する

地域包括支援センターこしじ・おぐに

- ◎包括圏域会議・多職種交流会を年5回以上開催し、関係機関のネットワーク作りを推進する

ひうの家

- ◎利用者の在宅生活継続のため、地域・家族との連携を図る
- ◎安定した事業基盤を確立するため、地域における広報活動を積極的に行い、新規登録者確保に努める

ケアハウスひう

- ◎利用者のニーズや心身の状況を適切に把握し、自立支援の視点に立ったサービスの
- ◎安定した事業基盤を確立するため、新規入居申込者の確保と状況把握を適切に行い、平均稼働率96%を実現する